



おはようジョギングを楽しむ参加者達

おはようジョギング十周年記念

「コース走り初め会」に市民300人が参加

「おはようジョギング・コース走り初め会」が四月二十九日、子どもからお年寄りまで市民約三百人が参加して行われました。

このコースは、市民の健康と体力の増進を図るために、あすなろ団体をきっかけに「健康はまず走る」ことから、市教育委員

員会が設定したもので、今年で十周年となります。参加者は午前六時、早朝のさわやかな空気を胸いっぱい吸いこんで市役所裏の

スタート地点に集合しました。走り初めに先立ち、高橋教育長が「おはようジョギングも十周年を迎えました。これからも健康づくりと体力の増進を図るため大いに活用してください」とあいさつを述べ、準備体操の後一斉にスタート。

このコースは、岩木河原の北斗・南斗両運動場に設けられた三千メートル(片道千五百メートル)で、西に雄大な岩木山を、東に街並みを眺めながら走るコースで、参加者は各自のペースで心地良い汗を流し、全員が完走しました。

なおこの日、十周年を記念して参加者全員に、タオルを配りました。

このコースは、岩木河原の静かな環境にあり、ジョギングには絶好の場であることから、早朝から多くの市民に利用されています。

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

昭和63年

№.663

わたしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活気に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立つて西北津軽の人々と協調し、郷土の限りない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

「活力ある高齢化社会を目指して」

社団法人五所川原市シルバー人材センターの設立総会が四月二十七日、中央公民館で会員や関係者など約二百人が出席して行われました。

生きがいを！ 材センター設立

本市の人口は約五万一千人で、六十歳以上のお年寄りは約八千二百五十人と全体の一六・〇九%を占めており、県平均の一五・一二%を上回っていることから市では高齢者の生きがい

対策や働く場の確保に力を入れてきました。

同センターは、六十歳以上の高齢者に経験や能力を生かした仕事を提供し、就業機会の増大を図り、活力ある地域社会づくりに寄与することを狙いとして設立されたもので、県内では青森市、弘前市、八戸市に次いで四番目となります。

二百七人が登録されています。

設立総会では、発起人を代表して小林清蔵さん(市内大町)があいさつを述べた後、これまでの経過報告や定款、事業計画、収支予算などが審議・承認され、続いて役員を選出が行われました。



引き続き、来賓として森田市長が「第一線を勇退された方々の長年培われたご経験を地域社会発展のため、役立てることに生きがいをもっていただけのような活力ある高齢化社会を実現させるために、大きな役割をなすものと期待します」と祝辞を述べました。

わが国における六十五歳以上の人口全体に占める比率は、昭和四十五年では七%であったものが六十年には一〇・二%で十五年間に三・二%増加しており、諸外国よりはやいスピードで高齢化が進んでいます。

理事長 小林清蔵

五所川原市シルバー人材センター設立にあたって

本市においても、六十歳以上の高齢者は約八千二百五十人で全体の一六・〇九%を占めており、

県平均の一五・一二%を上回っています。この度、県並びに市のご援助により、県内では四番目のシルバー人材センターが設立されました。これからは、会員の皆さんとスクラムを組んで、地域に根ざした活動を続けるとともに、それに生きがいを感じながら、活力のある高齢化社会を実現させ、地域社会の発展に寄与したいと思っております。

市民の皆さん、シルバー人材センターに深いご理解とご協力をお願いします。

▽監事 長沢四郎、渋谷謙造



設立総会であいさつを述べる森田市長

この後、榊秀雄県商工労働部職業安定課長代理が祝辞を述べ設立総会を終わりました。

同センターでは、今後さらに高齢者の生きがいの充実と社会参加を希望する会員を増やしていくことにしています。

- ▽役員は次のとおりです。(敬称略)
- ▽理事長 小林清蔵
- ▽常務理事 乗田孝一
- ▽理事 村上純一、奈良助信、平山誠敏、三和満、川村恒儀、木村重治、長尾良治



お年寄りに シルバー人

誠実・丁寧な仕事ぶりが自慢

シルバー 人材センター とは

常用雇用でない就業を通じて、自己の経験と能力を生かし、自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者が集まって、地域の日常生活に密着し、高齢者に適した補助的・短期的な仕事を家庭、民間企業、公共団体等から有償で引受け、各人の希望と能力に応じて仕事を提供し高齢者の就業機会の増大を図り、併せて活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とした団体です。

シルバー 人材センター の特色

単なる同好者のグループではなく、公共的な性格をもつ社団法人で営利を目的としません。
▽仕事はセンターが請負います 会員にふさわしい仕事をセンターが請負い、

各人の希望にそって仕事に従事するもので、仕事の発注者と会員との間に雇用契約は結びません。
▽傷害保険が適用されます 会員が、仕事にけがをしたり、仕事の原因で病気に罹ったときには傷害保険の給付が受けられます。
▽配分金は人材センターが会員に支払います 人材センターが引き受けた仕事に対して、センターが責任を負います。なお、請負代金は一括して人材センターが受けとり、従事した会員に配分金を支払います。

シルバー 人材センターの 会員となるには

会員になることができる人は、市内に居住する「おおむね六十歳以上の人」です。
定年等で、すでに退職された人や、家業を子どもに譲った人など、みんな協力して、お互いの経験や能力を生かすことができる適

当な仕事があればやってみたい」と思っている健康な人ならどなたでも入会できます。
▽会費(年一、〇〇〇円) この会費は、センターと会員との連絡費などにあてられます。
▽留意事項

シルバー人材 センターはこんな 仕事をします

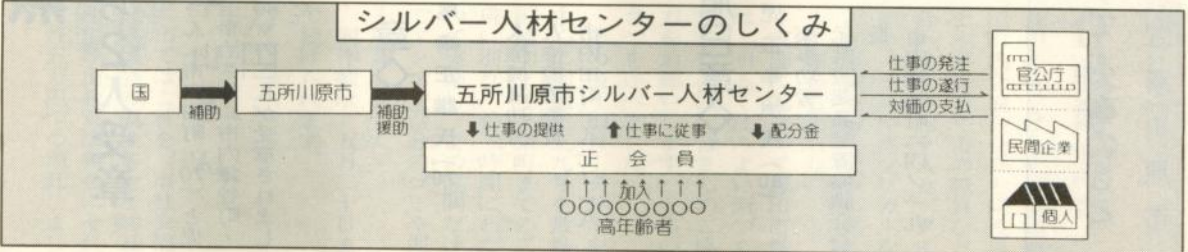
▽一般事務 ●あて名、表札書き、毛筆を必要とする証書類、書類、伝票の整理、台帳、名簿の整理
▽簡単な修繕 ●家屋の小修繕、簡単な改造工事、ふすまや障子の張り替え
▽屋外の軽作業 ●庭木のせんてい、除草、芝生の手入れ

仕事の依頼を お待ちします

人材センターでは、市民の皆さんや各事業主からの仕事の依頼をお待ちしています。
どんな仕事でも結構です。人材センターに連絡してください。会員の中から希望に添った適任者を派せんし責任をもって仕事をやりとげます。

▽工場内の補助作業 ●機械の管理、資材整理、塗装
▽お手伝い ●留守番、子守り、家事のお手伝い

シルバー人材センターのしくみ



市内岩木町一二
(福祉事務所二階)
☎八八四四番

市子ども会育成団体連合会 創立25周年記念式典開かれる

市子ども会育成団体連合会

五所川原市子ども会育成団体連合会(原田康男会長・加入子ども会五十五団体・三千三百人)では五月一日、中央公民館で「創立二十五周年記念式典」を開催し、来賓や子ども会関係者など合わせて約百五十人が出席しました。

同連合会は、子ども達に遊びを通して仲間との友情を深め、自主性や社会性を身につける場を提供しようと昭和三十八年に創立され

たもので、これまでに郷土芸能を通しての老人と子どもとの交流、雪まつりへの参加などさまざまな活動を続けています。

式典では、永年にわたり子ども会活動に功労のあつた個人・団体などに表彰を行った後、原田会長が「明日の五所川原を担う子ども達の健やかな成長を願い、地域子ども会の充実と発展を目指そう」と辞を述べました。



記念フェスティバルでパレードする子ども達

続いて、五所川原市長代理の高橋教育長、成田守県議会議員ら五人がそれぞれ祝辞を述べました。

引き続き、弘前学院大学の宮崎英昭氏を講師に迎え「社会教育と子ども会活動について」と題した記念講演を行いました。

また、前日の四月三十日には創立二十五周年記念フェスティバルを開催し、子ども会二十四団体から約五百五十人が参加して市内の目抜き通りをパレード、その後、市庁舎前お祭り広場でゲームや歌で楽しく交歓しました。

表彰を受けた個人・団体は次のとおりです。(敬称略)

◇表彰状▽育成者〓山上作之進、加藤信雄、工藤昇、真藤隆二、北川健三郎、長尾美秋、小野つと、大久保忠彦、伝法谷優子、米谷美智子、工藤克美、工藤はつ、松本一雄、太田雅夫、岩谷賢司、小田桐幸雄、吉岡京市、高杉秀雄、佐々木英次、

俵谷佐之一、葛西せつ子

▽県子連永年功労〓渋谷とく、原八恵、奈良祐治

▽市子連永年功労〓浅利政一、成田誠一、野村修三、野呂甚助、成田繁則、森一二三、石田和康、岡田芳道、高橋京子、齋藤友男、佐藤幸孝、齋藤正美、前田文弘、吉川和子、蝦名昭雄、平川俊一

◇感謝状▽特別功労団体〓(株)羽藤商事、若葉県営子ども会、上平井子ども会、平井子ども会、弘南バス五所川原営業所、市野球協会

▽団体〓梵珠少年自然の家、市中央公民館、市民体育館、かいどう児童館

▽行政関係〓対馬堅一、田中茂、蒔田弘次、棟方修新、大坂幸雄、長内重雄

▽内助の功労〓野呂子マ、成田リセ、森セツエ、高橋幸作、前田ツエ子、蝦名玲子、吉川栄

▽個人〓相馬雄二、小笠原和広、檜崎茂樹、上田昌広、新谷勝義

春の叙勲

本市から2人受章

政府は四月二十九日付で、昭和六十三年春の叙勲と賜杯の受章者四千五百八十一人を発表しました。

本市関係では、尾崎正雄

◇勲五等 瑞宝章◇



尾崎正雄氏(70)

人権擁護功労
人権擁護委員
市内田町一八七ノ一八

◇勲六等 単光旭日章◇



児玉幸治氏(80)

薬事功労
元県医薬品配置協議会会長
市内鎌谷町六四ノ一九

山火事注意!

たばこの投げすて 火事のもと

五所川原市

朝野球が開幕

550人健闘誓う

県内で最も長い歴史をもつ五所川原朝野球協会(中井達郎会長)主催の「第二十四回五所川原朝野球大会」の開会式が四月二十九日、市営球場で行われました。午前六時、五十三チームの選手約五百五十人が、ユニホーム姿で堂々の入場行進を行なった後、昨年の各ブロック優勝チームから優勝旗などの返還が行われました。

続いて、連続出場十五年の五チームと同十年の一チームに感謝状と記念の楯が贈られました。この後、中井会長が「朝野球宣言をよく守り、今年も正々堂々悔いのない試合をしてください」とあいさつを述べました。

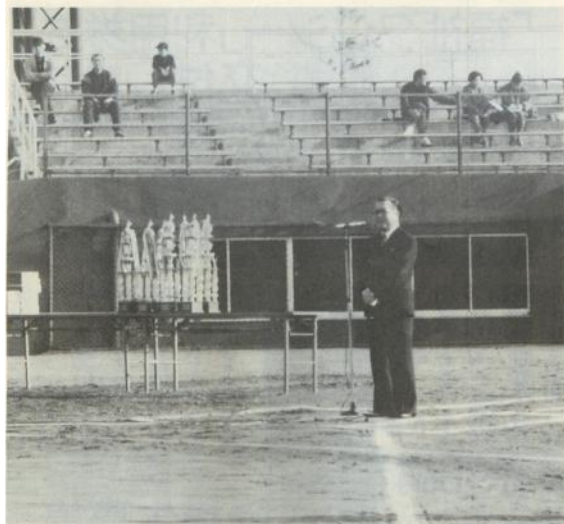
その後参加選手を代表して、中三チーム・沢田満則主将が「朝野球の精神にのっとり正々堂々と戦います」と力強く選手宣誓を行い閉会しました。

同大会は、Aブロックは五月二日から、B・Dブロックが五月七日から九月までの五か月間にわたり熱戦を繰り広げます。

また同協会では、アフリカ難民を救おうと「アフリカに緑を、愛の一球」をキャッチフレーズに、昭和六十年から募金活動を展開中で、この日も参加選手などが率先して募金を行いました。

連続表彰チームは次のとおりです。
▽十五年 胃腸病院、東芝、昭和プロパン、五工高ダックス、市農協

▽十年 みちのく銀行



開会式であいさつを述べる森田市長

住みよい環境づくり目指して

春のクリーン作戦展開中

市では、四月二十二日から恒例の「春のクリーン作戦」を開始しました。これは、長い冬ごもりで街も大分ゴミや泥で汚れており、市民と行政が協力し

て側溝のゴミ・泥を収集処理して住みよいきれいな環境をつくらうと、町内会連合会と市などが実施しているものです。

森田市長をはじめ、気田勝治町内会連合会長と同役員、土木事務所や市の職員など合わせて約四十人と、タイヤショベルやダンブカーなどの車両七台が旧ロータリーに集合しました。



連合会作業の収集(右)と市長(左)の初日、気田勝治町内会連合会と森田市長の共同作業

実施に先立って森田市長は「明るく住みよい街づくりのために、皆さんのご協力をお願いします」とあいさつを述べました。

その後、旧ロータリーを中心に国道三三九号を敷島町踏切までと栄町までの二班に別れ、約二時間にわたって実施し、この区間だけでタンブ十台分のゴミや泥を収集しました。

同作戦は、五月二十日まで続けられます。

福祉基金と教育振興会に10万円

布屋町の平山さん

市内布屋町の平山玄三郎さんは五月二日、福祉基金と教育振興会にと十万円を寄付しました。

これは、去る昭和六十二年十二月二十三日に亡くなられたご尊父泰三郎さん(78)の仏前に供えられた香典のお返しを兼ねたものです。

市ではこれを、市社会福祉協議会の福祉基金と財五所川原市教育振興会にそれぞれ五万円ずつ預託しました。

おさかな料理コンクール 青森県大会 出場者募集

- ▷応募資格 アマチュアの方に限る。
 - ▷内容 手軽で経済的、オリジナルに富んだ家庭料理(未発表のもの)
 - ▷方法 ハガキにメニュー名、材料、作り方、調理のコツと、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、性別、未婚、既婚の別を明記のこと。
 - ▷締切 6月30日(木)必着
 - ▷青森県大会 7月24日(日)青森調理師専門学校で開催
 - ▷審査 ハガキ審査により青森県大会出場者(10人ほど)を選び、実際に調理して頂き優秀者1人を決定。優秀者は東日本大会へ出場。
 - ▷最終審査 東京全国大会
 - ▷申し込み先及び問い合わせ先
〒030-01 青森市卸町1-1
青森中央卸売市場水産物精算(株)内
青森おさかな普及実行委員会
青森県大会事務局(☎0177☎1234番)
- ※書類審査の結果は全員に通知し、全国大会出場者の料理を紹介した小冊子を進呈します。



「福祉タクシー」利用券を 交付します

- ▷対象者 市内に住所のある在宅視覚障害者の人で身体障害者手帳1級及び2級の認定を受けている人。
 - ▷助成の程度 タクシー利用1回につき400円、年6回まで。
 - ▷申請方法 身体障害者手帳、印鑑持参のうえ市福祉事務所福祉係へおいでください。(代理人でも可)
- ※詳しくは、市福祉事務所福祉係(☎☎2111番内線210番)へどうぞ。

茶花講習会 受講生募集

- 働く婦人の家では、季節の花を用いた茶花の講習会を開催します。
- ▷受講資格 市内に住所または勤務先を有する婦人
 - ▷受講期間 年4回(6・9・11・3月)
初回 6月2日(木)
 - ▷受講時間 午後6時30分～8時30分
 - ▷受講料 無料(材料費は本人負担)
 - ▷募集人員 15人(定員になり次第締切)
 - ▷申し込み締切 5月31日(火)午後4時まで
 - ▷申し込み先及び問い合わせ先
働く婦人の家(☎☎8898番)

交通事故発生状況

(五所川原警察署提供/昭和63年4月30日現在)

派出所 駐在所別	駅	前	三	好	中	川	毘沙門	飯	詰	松	島	松島団地	栄	長	橋	七	和	梅 (梅泉地区)	沢	4 月 中	累 計 1 月 ～ 4 月
	4 月 中	累計 1月～ 4月	4 月 中	累計 1月～ 4月	4 月 中	累計 1月～ 4月	4 月 中	累計 1月～ 4月	4 月 中	累計 1月～ 4月	4 月 中	累計 1月～ 4月	4 月 中	累計 1月～ 4月	4 月 中	累計 1月～ 4月	4 月 中	累計 1月～ 4月	4 月 中		
件数	5	26	1	6	2	2	13			2	11	1	4		5	1	8	2		16	92
死者		2		1							1										4
傷者	6	28	1	6	4	2	17		3	12	1	7	4		6	2	11	2		19	106
死亡事故 ○ 継続日数		43		73		6,325		1,022		2,560		47		510		212		320		895	6,325

1日1円でご家族の安心を!

交通災害共済に家族そろって加入しましょう

※詳しいことは、市役所市民課(交通防犯対策室) ☎☎2111番内線280番へ

粗大ゴミの収集 5月・8月・11月の年3回 収集します

- ▷各月の第3木曜日
旧町内、湊、湊団地、みどり町、松島町、若葉
- ▷各月の第4金曜日
七和、梅沢、長橋、栄、松島、飯詰、毘沙門、中川、三好の各地区
- ※粗大ゴミを出す方は、収集日の2日前までに市衛生課(☎⑤2111番内線269番)へご連絡ください。

東北電気通信監理局 からのお知らせ

- 無線機は免許を受けて正しく使用しましょう。
- アマチュア無線機及びパーソナル無線機の不法改造はやめましょう。
- 免許を受けないで無線局を開局したり、運用したりすると、一年以下の懲役又は20万円以下の罰金に処せられます。
- コードレス電話は、次のマークの添付されたものを使用しましょう。

微小電力型

微弱型



- 電波による障害等でお悩みの方は、東北電気通信監理局電気通信部調査課(〒980 仙台市本町3丁目2-25 ☎022-221-0642番)へご連絡ください。

商業統計調査 通商産業省

全国の卸売業、小売業を営む商店

を対象として

6月1日 に実施します。

調査員が、商店を訪問しますので御協力ください。

くわしくは
市役所総務部秘書企画課統計調査係
(☎⑤2111番内線319番)まで



計量器(はかり)の定期検査

商店、農業経営者などで計量器を使用している方は、年1回の定期検査を必ず受けてください。

〈注意事項〉

- ①検査当日は、通知書(はがき)、印鑑、検査料(種類によって異なる)をご持参ください。
- ②検査を受けない計量器は使用することができません。
- ③通知書記載の期日に検査を受けられない方は、他の場所でも受けられます。
- ④期間中に検査を受けないと県計量検定所(青森市八ツ役字芦谷 ☎0177-8555番)で受検しなければなりません。

実施期日	実施場所
5月23日(月)	10:00~12:00 毘沙門・長富コミュニティーセンター
	13:00~14:30 コミュニティーセンター飯詰
5月24日(火)	10:00~15:00 五所川原市農業協同組合三好支所
5月25日(水)	10:00~11:30 コミュニティーセンター中川
	13:00~15:00 津軽中央農業協同組合吹畑支所
5月26日(木)	10:00~11:30 五所川原市農業協同組合栄支所
	13:00~14:00 梅沢コミュニティーセンター
5月27日(金)	10:00~11:30 コミュニティーセンター長橋
	13:00~14:00 コミュニティーセンター七和
5月30日(月)	10:00~15:00 中央集会所(上平井町 旧郵便局跡)
5月31日(火)	同上
6月1日(水)	10:00~15:00 五所川原市民文化会館
6月2日(木)	同上

国税だより

◎税に不服のあるときは

税務署長の行った税額の更正や決定、あるいは財産の差し押えなどの処分について納得がいかない人のために、税務署長に対する「異議申し立て」と国税不服審判所長に対する「審査請求」の不服申立制度があります。

詳しくは、五所川原税務署(☎④3136番)や仙台国税不服審判所(☎022-221-7561番)にお尋ねください。

乳幼児の健康診査

- ▷場所 市保健センター
 - ▷受付時間 午後12時45分～午後1時まで
 - ▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。
3歳児は尿検査も行いますので、当日小便に尿を入れてもってきてください。
 - ※注意 ①6ヵ月児健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配付しますが当日つごうで来れない場合は、母子健康手帳をもって衛生課窓口セットをもらいにきてください。(ただし生後6ヵ月、7ヵ月児に限る)。
②病気療養中(特に伝染性の病気)のお子さんとはご遠慮ください。
- お問い合わせは、市衛生課(内線268、272番)へどうぞ。

月令	対象児	期日	内容
3ヵ月児	S63年2月生	6月14日(火)	健康診査
6ヵ月児	S62年11月生	6月21日(火)	健康相談
1歳児	S62年5月生	6月27日(月)	健康相談
1歳6ヵ月児	S61年12月生	6月28日(火)	健康診査
3歳児	S60年2月生	6月16日(木)	健康診査

休日・夜間の急病は

在宅医師の照会は消防署へ

☎34-4999番

(救急医療部会)

寒立馬の短歌取材の旅終り白き灯台に西陽の
映ゆる
一年に一度集いて酒杯かわすラポールの戦友
ら白髪目立つ
車下り直ちに折れる路地明るしどの門も低く
りラ咲き匂う
老いてなおバイタリティーあるこの友に吾も仄
かな希望を持てり
穴を掘り病葉を埋め土を踏む何やら大き仕事
せしごと
飽食の子ら廻す地球儀帆のようにふくらみ戦
野の兵など見えず

津軽アスナロ五所川原支部

短

歌

山谷久子
原田栄子
三浦そめ
大沢寿夫
崎野清蔵
吉田勇造

市役所の電話番号は☎2111番

6月の保健センター相談日

- 6月3・10・17・24日です。(毎週金曜日)
- ▷時間 午前10時～午後3時
- ▷内容 保健婦が血圧測定、尿検査を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまで、お気軽にご利用ください。
お問い合わせは市衛生課へ(☎内線268番)

ミニドックを受けよう

市では40歳以上の市民を対象に成人病の早期発見、早期治療を目的としたミニドックを実施しています。対象となる人は積極的に受けるようにしてください。

- ▷実施期間 4月15日から昭和64年2月28日まで
- ▷実施時間 医療機関によって実施時間が違いますので申し込み時にお知らせいたします。
- ▷対象者 昭和24年3月31日までに生まれた方。
- ▷受診方法 受診を希望する人は、市衛生課及び市役所各支所窓口保険証を持参のうえ、受診記録票の交付を受け、希望する医療機関で受診してください。
- ▷受診料 無料
- ▷診査項目 問診、身体測定、血圧測定、心電図、尿検査、貧血検査、肝機能検査。
- ▷問い合わせ先 市衛生課(☎内線272番)

◎実施医療機関名

江渡医院・田辺胃腸科外科医院
小笠原内科医院・対馬内科小児科医院
兼平内科小児科医院・富田胃腸科内科医院
川崎胃腸科内科医院・中村内科医院
木村内科医院・永田小児科内科医院
健生病院五所川原診療所・白生会胃腸病院
佐藤仁外科胃腸科医院・復明堂医院
佐藤内科小児科医院・増田病院
莊司内科医院・三好診療所
白戸胃腸科外科医院・森田診療所
西北中央病院・森内科小児科医院

みんなの健康教室

- ▷日時 5月27日(金)午後1時
- ▷場所 市保健センター
- ▷講師 対馬昭幸先生
(対馬内科小児科医院長)
- ▷テーマ 「脳卒中について」
- 主 催 北五医師会・市民保健協議会